

中心市街地内における歩行者回遊行動モデルの構築に関する研究

背景・目的

中心市街地内の衰退

要因 人口減少 モータリゼーション
社会資本の投資能力の低下

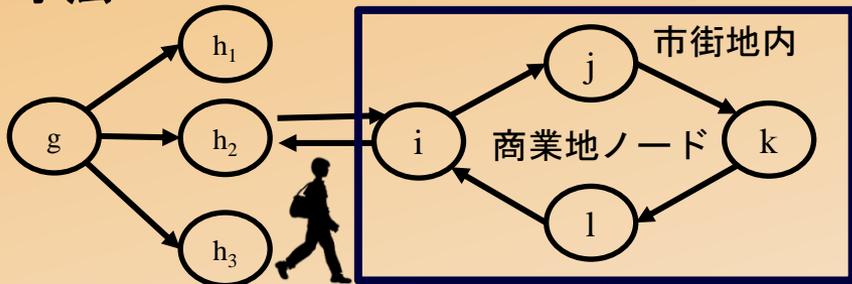
実態 行政コストの増加の懸念
都市機能の外延化 「まち」の質の低下

地方都市の地域活性化において集約型都市構造による
「コンパクトなまちづくり」の実現が重要

中心市街地の活性化の指標として歩行者の回遊行動を分析



手法 中心市街地内回遊行動シナリオ



g:居住地 h:観光地選択 i:出入口ノード j,k,l:施設

来街目的別(買い物・観光)に回遊特性を明らかにし回遊行動モデルを構築



歩行回遊性ならびに生活利便性を高めるための
効果的かつ効率的な整備指標の一助としての活用を目指す